

# 病院ボランティアを募集しています！

## “病院ボランティア”とは

病院内で医師・看護師・その他の職員と協力して、患者様が少しでも良好な環境のもとで安心して治療ができるように、自発的に無報酬で奉仕することです。

## 活動する日

平日の午前8:30から午後4:00の間で、都合の良い時間帯。  
週1回以上で、1回の活動時間はおおむね2時間以上。

## 活動内容

- 患者様の案内（各診療科、放射線科、検査科等へ）
- 車椅子利用者への介助、誘導
- 花の水かえ
- 本棚の整理
- 掲示物の整理
- 屋外のごみ拾い、草取り
- その他 できること



## いつもありがとうございます！

柿崎区 小山智恵子さん(火曜日午前)  
田中操さん(水曜日午前)  
ご協力に感謝いたします。

お問い合わせ、お申込みは事務長、看護部長へどうぞ

# 10月 外来診療担当表

診療科	受付時間	月	火	水	木	金
総合診療科	午前 8:30~11:30	1診 太田	太田	太田	坪野	眞水
		2診 木島	木島	眞水	水戸	木島
		3診 坪野	眞水	水戸	木島/眞水 (隔週)	太田
外科	午前 8:30~11:30	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木
眼科 (水曜は予約制)	午前 8:30~11:30	石川 診療9:00~		塚本 診療10:00~		石川 診療9:00~
	午後 13:00~14:00			塚本 診療13:00~		
皮膚科	午前 8:30~11:00		濱田 診療9:00~			
	午後 13:00~15:00			労災病院 診療13:30~		
婦人科	午後 13:00~15:00					新潟大学 診療14:00~
耳鼻咽喉科	午後 13:00~15:00		新潟大学 診療13:30~			新潟大学 診療13:30~
整形外科	午前 8:30~11:00		労災病院 診療10:00~	労災病院 診療10:00~		

●水曜日の眼科は完全予約制ですので、あらかじめ電話での予約をお願いします。(予約受付：平日午後2時~)

●外来の予約変更のお電話は、平日午後2時以降にお願いします。

# 柿崎病院だより



発行日:平成29年10月1日  
発行元:新潟県立柿崎病院  
〒949-3216  
上越市柿崎区柿崎 6412-1  
TEL 025-536-3131  
FAX 025-536-3136  
ホームページ <http://kakizaki-hp.niigata.jp/>

## 地域とつながる看護

看護部長 浅野 広美



春、茶色だった田んぼが緑に変わり、黄色から金色に変わる季節の移り変わりの早さを実感しています。今年4月より柿崎病院に勤務しております看護部長の浅野広美です。頸北地域は初めてのため、春近隣の施設訪問に伺い、施設の中を案内していただきました。施設では、利用者の方々や家族の思いに寄り添うような対応をされており、私達病院職員も地域の方々と連携して看護していく大切さを感じました。また、当院が行っている訪問看護にも同行し、在宅での生活を見させていただきました。入院中には見られない患者様の様子を見ることができ、看護師と家族そして患者様を取り巻く医療者、介護者の方々など途切れることなくつながっている様子から、まさに地域医療を垣間見ることが出来ました。私は今まで、病院以外の仕事は経験がなく、今回施設や在宅での生活を見させていただくことで、柿崎病院の看護師の一つの役割として考えることが出来ました。

その他にも、柿崎病院にはガーデニングや七夕コンサートなど地域の方々とふれあう機会が幾度となくあり、柿崎病院は地域の方々から支えられていることに感謝しております。

また、地域講演会でもお話ししましたが、当院には老人看護専門看護師と糖尿病看護認定看護師が勤務しております。困っている事や悩んでいる事など相談に応じておりますので是非声をかけてください。看護部の理念として「患者様一人ひとりに寄り添い、住み慣れた地域で安心して生活できるよう心のこもった看護に努めます。」と掲げております。当院の職員ひとり一人がこの理念を理解して看護できるようにしていきたいと思っております。今、医療を取り巻く環境はどんどん変化しています。頸北地域において柿崎病院の役割を認識し、皆様とともに歩んでいきたいと思っております。ご支援よろしくお願い致します。





リハビリテーション科



リハビリテーション科は平成20年に開設し、現在4名の理学療法士が勤務しています。

当院では入院患者さんの廃用症候群の予防と早期離床に力を入れています。廃用症候群とは、本来正常なはずの機能が使われないことによって能力低下を起こした状態のことで、筋力低下や体力低下、関節可動域制限、自律神経系の調節機能低下、認知機能低下など様々な症状が現れます。離床とは、ベッドに横になって寝ているだけの状態から、動かせるところはできるだけ動かし、可能ならばベッドの背もたれを起こす、座ってお話しをする、立ち上がってトイレに行く、病棟を歩くなど元の生活に戻るための基本となる行為のことです。以前には、「元気に何でもしていたおじいちゃんが肺炎で入院したら、病気は治ったんだけど寝たきりになっちゃってさあ」などという話を時々耳にしました。廃用症候群は特に高齢者に起こりやすく、予防が大切です。そのために私たちは主治医や看護師と緊密に連絡をとり、協力して早期からの積極的な離床を進めています。

またリハビリテーション科では、退院前訪問指導や退院後の訪問リハビリを行っています。患者さんの自宅へ訪問し、実際の生活の場で練習をしたり動作を確認したりすることで、より具体的にご本人やご家族に助言ができます。そのほか、患者さんが安心して退院後の生活が送れるように、退院前カンファレンスでは色々な職種の方々と情報交換をしています。

これからも皆様のご期待やご要望にしっかりと応えられるように、院内院外を問わずフットワークを軽くして業務に取り組んでまいります。



早期離床に取り組んでいます

退院前訪問や訪問リハビリで活躍



訪問リハビリの様子



ご本人ご家族を交え、退院前カンファレンスの様子

平成29年度

頸北地区の医療を考える会

◆日時 平成29年10月28日(土) 午前9時30分～11時45分

◆場所 柿崎コミュニティプラザ ホール(柿崎区総合事務所4階)

◆講演内容 1. 「脳卒中とは」

県立中央病院診療部長 田部浩行 先生



2. 「脳卒中のリハビリテーション」

県立柿崎病院リハビリテーション科 技師長 藤澤明彦



3. 「脳卒中の予防」

県立柿崎病院総合診療科 医長 木島朋子



相談コーナー

健康相談 担当：看護師  
お薬相談 担当：薬剤師

参加費は無料です。お気軽にご参加ください。

お問い合わせは看護部長室(TEL 536-3131)へどうぞ。

主催：県立柿崎病院 後援：上越市、県立柿崎病院後援会

柿崎病院後援会から

8月発行の病院後援会だよりの会長挨拶で、次の文章が抜けていました。お詫び申し上げ、この場をお借りしてご紹介します。(柿崎病院後援会事務局)

『柿崎病院では、今年の春の人事異動で藤森院長がご勇退され、相澤看護部長さんをはじめ、三人の部門長さんが退職されました。また、大勢の医師・看護師・技師の方々が転勤となりました。皆さんには、長きにわたりお世話になりました。心から感謝とお礼を申し上げます。』

